



11月11日、立山砂防女性サロンの会が、白山砂防女性特派員との意見交換会を行いました。

お互いの活動紹介では、自主的な活動が主体の立山砂防女性サロンの会に対し、白山砂防女性特派員は行政主導で進めているなど、会の成り立ちが違ふことが理解されました。

意見交換では、効果的な広報活動や効率的な組織運営など両組織がそれぞれ抱える課題について、積極的に意見が交わされました。

今後は、現場見学会なども行って、さらに交流を深めていきたいと意見がまとまりました。

女性たちのタッグが、立山と白山の砂防事業にとって今まで以上に力強いサポートになってくださると心強く感じました。



- 趣 旨 砂防事業の必要性や土砂災害防止に関する意識啓発活動について、これまで行ってきた活動等の意見交換をすることで、今後の両組織の効率的・効果的な活動や組織運営に資することを目的とする。
- 日 時 平成28年11月11日（金）12時～14時
- 場 所 金沢河川国道事務所 ほか
- 参加者 白山砂防女性特派員 10名
立山砂防女性サロンの会 11名
- 内 容 活動報告
効率的・効果的な広報活動等に関する意見交換

－白山砂防女性特派員－

白山の自然と人命を守る砂防事業の必要性を学び、次世代に伝えていくとともに、手取川流域に住む人々の交流と地域の活性化を女性の視線に立って行っていこうという目的で、平成15年に設立されました。

- メンバー：毎年20名程度・平成28年度は15名に委嘱

－立山砂防女性サロンの会－

土砂災害の恐ろしさ、砂防事業の必要性を女性の立場から子や孫、地域の方々に語り伝えていくことを目的に、平成13年に設立された立山砂防事業の女性サポーターの会です。

- 会員数：300名
- 会長：尾畑納子氏（富山国際大学現代社会学部長）
- アドバイザー：吉友嘉久子氏

((株)よしともコミュニケーションズ 代表取締役)
★今年9月、14年間にわたる「砂防」に関する活動が評価され、防災思想の普及に大きく貢献したとして、「防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞されました。
(立山トピックVol.24で紹介しています。)

